

区分・種別	重要文化財(工芸品)		
名称	みしまみょうじんほうのうぶきるい 三島明神奉納武器類		
所在地	今治市大三島町宮浦		
所有者	大山祇神社	管理団体	
指定年月日	昭和41年6月11日		
解説	<p>三島神紋流旗<small>りゅう</small>(1旗)</p> <p>薙刀<small>なぎなた</small>(7口)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薙刀(1口) 銘備前国岩戸庄地頭左兵衛尉源吉家 元徳二年十二月日 ・薙刀(5口) 無銘 ・長巻<small>ながまき</small>(1口) 銘宗吉 <p>弓(9張)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒漆塗二引重藤弓<small>くろうるしぬりにびきしげとうのゆみ</small>(1張) 正中二十一の針書銘がある ・吹寄藤弓(1張) ・赤漆塗重藤弓(1張) ・塗籠所糸巻弓<small>ぬりこめどころいとまきゆみ</small>(1張) 貞治二年十一月二十二日の墨書銘がある ・塗籠重糸巻弓<small>しげいと</small>(1張) ・塗籠勾糸巻弓<small>かねいとまき</small>(2張) ・黒漆塗二引重糸巻弓(1張) ・塗籠二引權巻弓<small>かばまき</small>(1張) <p>箭<small>や</small>(55隻)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・征箭<small>そや</small>(45隻) 内一隻の鏃<small>やじり</small>に国益の銘がある ・中差箭<small>なかざしや</small>(4隻) 内二隻の鏃<small>やじり</small>に与州国益の銘がある ・雁股箭(6隻) <p>黒漆塗革張胄鉢<small>かぶとばち</small>(1頭)</p> <p>鯨髭張半弓<small>げいしゆぱり</small>(1張) 附木籠箭<small>の</small>(5隻)</p> <p>この武器類は、西海有数の大社である大山祇神社に奉納された屈指の優品で、いずれも鎌倉時代から室町時代にかけて製作されたものである。</p> <p>三島神紋流旗は長さ341cm、幅68cm、白地の麻布二幅を合わせ、墨で角折敷、縮み三の字を表し、その上に引両と伊勢、八幡、三島の神号を表している。</p> <p>薙刀は7口あるが、うち1口は長巻で鎌倉時代の作、長さ</p>		

解 説

105cm、^{しのぎづくり} 鑄造、^{きた} 鍛えは板目乱れ、刃文は^{こにえ} 小沸出来で^{じきは} 直刃調の小乱れ、「宗吉」の銘がある。もう1口には頭書の銘があり、長さ61cm、反り2.4cm、鍛えが大板目ほつれ、刃文は広直刃ほつれで、南北朝時代の武将脇屋義助の奉納といわれる。

他の5口は無銘で、一は長さ101.3cm、鍛え板目、刃文は小丁字に小互の目交り、二は長さ75.2cm、鍛え大板目、刃文は互の目である。三は長さ80.3cm、鍛え板目、刃文は直刃小乱れで、四は長さ66.3cm、鍛え不明、刃文小乱れであり、五は長さ98.8cm、鍛えは板目、刃文は逆丁子である。

弓については長さがそれぞれ二引重籐巻239.5cm、吹寄籐巻237cm、赤漆塗重籐巻241cm、所糸巻226.5cm、重糸巻234cm、匂糸巻234cm、二重重糸巻241cm、二引樺巻234cmである。

箭については、軍陣に用いる^{うわざし} 征箭、^{かぶらや} 上差の^{とがりや} 鏑矢に^{なかざしや} 差し添える^{また} 尖矢の中差箭、刃先が^{やじり} 叉の形に開きその内側に刃のある^{やじり} 鏑の矢がある。籥の長さは81cm～96cmほど、鏑長は7.9cm～9.1cmほどである。

黒漆塗革張冑鉢は鉢高28.5cm、前後径23cmの革張り製で、中国元時代の^{もうこかぶと} 蒙古兜であり河野通有奉納と伝えられる。

半弓は総長178cm、弦の長さ118cmで、握りには濃紺色の木綿が巻きつけてあり、^{らでん} 螺鈿飾りがある。箭の長さは98cmである。弓矢とも中国元時代のもので、河野通有奉納と伝えられる。

